

# 12月定例会

豊川市議会第4回定例会（12月定例会）は、12月6日から16日間にわたって開かれました。

市長選挙後の初議会となり、代表質問では6名、一般質問では16名の議員が、12月11・12・13日の3日間にわたり、新市長の所信表明や市政全般についての市の考え方や方針をたどりました。

主な質問と答弁の要旨は、次のとおりです。今回、代表質問を行った会派は、緑風会、清政会、新生豊川、公明党市議団、市民フォーラム豊川、日本共産党豊川市議団でした。

## 代表質問

市長がマニフェスト、選挙公約、所信表明で約束した政策について

（緑風会）

【問】市長が実現を約束した政策について、①新市民病院建設②子どもの医療費無料化の拡大③小坂井町との合併④第2・4土曜日午前中の窓口業務の開庁⑤工跡跡地への平和公園の設置⑥陸上競技場の全天候型グラウンドへの改修⑦中学校区ごとへの地域包括支援センターの設置について伺う。

【答】①用地費30億円以下、建設費148億円（アクセス費用は除く）以下とし、25年度に開院。市民代表委員を含めた検討委員会を19年度内に設置し、候補地の公表、アクセス費用を加えた資料により、20年末までに建設地を決定②20年度に入院で中学3年、通院を小学3年とし、23年度には通院も中学3年まで拡大する③新法期限内の合併を目指す④21年度からプリオビルで、市民課業務を土日も含め、午後7時までの実施⑤未定であるが、実現に向けて取り組むべき施策⑥任期中の改修完了を目標⑦第4期介護保険事業計画を策定する中で検討。

市長の所信表明と公約の実現について

（清政会）

【問】所信表明、選挙公約で示した政策に関し、①病院建設における改正都計法の認識②競技場の公認継続の考え③子育て支援④小坂井町との合併方針⑤新行革大綱の推進の考え⑥高齢者、障害者支援⑦公約実現ができないときの責任について伺う。

【答】①県のガイドライン同意指針ただし書で、調整区域に建設可能と考えるが、20年末建設地決定の時間的制約の中で、市街化区域内を中心に、地権者の少ない場所を調査②三種公認の競技場として継続③20年度、第3子以降の3歳未満児の保育料無料化、おやつ代の見直し。22年度、弾力徴収率2割引き下げを実施。また、任期中に児童館未整備中学校区の整備④すべて豊川市にあわせ、激変緩和措置は未実施⑤職員削減を前倒しし、少数精鋭で機動力ある行政を構築⑥福祉給付金制度の検討、地域生活支援事業の充実、日常生活用具の拡大を検討⑦工程計画を今年度末までに公表、点検評価を示し、市民に審判を仰ぐ。

市長の所信表明について

（新生豊川）

【問】所信表明における「4つの約束」と「5つのまちづくり」の中から、①市民病院建設と看護学校併設②歳入増と歳出減の取り組み③寄付条例制定の考え④門前の活性化などの観光施策の考えについて伺う。

【答】①交通渋滞や踏切の遮断の心配がない、平面駐車場の確保、緑に囲まれた空間、安価な用地費を念頭に、不転の決意で臨む。選定には、看護学校併設可能な面積も考えて調査②歳入増には、新たな工業用地選定への着手、トップセールスによる企業誘致、強力な収納体制整備等。歳出減には、定員適正化及び少数精鋭計画の策定、総合的な公共交通施策の検討等③寄付の用途をまちづくりの行政施策メニューとし、選択により、市民の意思の反映、寄付意欲を高める効果を期待する④「いなり寿司」の全国ブランド化を図り、店舗のファザード整備等との相乗効果をねらう。また、観光協会を民間主導の自由な発想で運営できる体制を整える。

### ③ファザード

正面から見た住宅の外観。

### ②寄付条例

自治体が提示した、まちづくりのための複数の政策メニューに対して、市民が自ら望む政策メニューに寄付することで、政策の実現を図る仕組みを実現するための条例。

### ①新法期限内

平成17年4月に施行された「市町村の合併の特例に関する法律」（合併新法）を指す。平成22年3月31日までの5年間の時限法。

## 市長の所信表明について

### (公明党市議員)

【問】所信表明から、①新市民病院建設②看護学校併設③市長のリーダーシップ④公認陸上競技場への改修⑤特別職退職金について伺う。

【答】①建設地検討委員会には、2、3名の公募委員を予定。選挙結果における、諏訪地区以外が民意と認識しており、従わなければならぬと考えている。なお、諏訪地区にかわる適地がないとは考えられない。20年末を目標に、地権者の同意を得て決定②民間との連携は、重要な一手法であり、今後、名乗りをあげる民間と情報交換しながら検討③下から組織を支える逆ピラミッドへ移行し、的確に市政の方向を示し、職員による行政運営の助けが、市長の使命④三千七百万円程度の更新費用がかかるが、高校駅伝等でのPR効果は、お金にはかえられないので、駅伝王国豊川に、ふさわしい陸上競技場としたい⑤3月定例会に私の任期の退職金を廃止する条例改正を上げ。副市長、教育長については考えていない。

## 市長の所信表明及びマニフェストについて

### (市民フォーラム豊川)

【問】所信表明、マニフェストの記載項目に関し、①総合計画との整合性②検証、事後評価の方法③市長の言う市民参加型行政④寄付条例制定時期⑤文化振興への考え方⑥環境問題が入っていない理由について伺う。

【答】①合併後の新計画には、福祉と文化、スポーツの盛んなまちづくり、また、市民参加型を焦点とした基本計画の見直しを、20年度に実施②工程計画に基づき、毎年度末に進捗状況や達成率の分析。未達成については、原因などの説明責任を果たす③行政運営へ市民意見の反映のため、職員は市民ニーズをとらえ、また、市民にはボランティア、NPOへの参加を望む④20年度制定⑤合併後、スケールメリット等により、質の高い事業が可能。また、施設の特徴、存在価値を生み出すためのアイデア募集を実施。図書館行政では、レベルの高い中央図書館とのネットワークの向上⑥健康で安心安全なまちづくりに含んでおり、環境行政の重要性は認識。

## 所信表明に関わる

### 市政運営について

### (日本共産党豊川市議員)

【問】市長の所信表明における、①市民病院建設②子育て支援③格差、貧困問題への対応④企業用地開発について伺う。

【答】①医師確保の観点から、20年末の候補地決定。現場の意見を踏まえ、構想策定や場所の決定を行うことは、当然と考えている。検討委員会で協議を経て建設地を決定し、議会の了解を得て、決めていきたい。また、諏訪地区を外したことは、選挙結果における民意であり、担保にしておく考えはない②子ども医療費無料化拡大による、国からのペナルティの話は聞いていない。また、国へのペナルティ廃止の要望は、県知事会、市長会の判断により、行動したい③国レベルでの最低賃金の上昇、雇用環境の向上を目指した政策が最善の解決策と考える④現地調査着手のための地元調整中であり、合意後、調査に基づき、計画区域を設定する。この開発計画を進め、地域経済の活性化のため、積極的な企業誘致を推進する。

## 一般質問

### 選挙チラシ並びにマニフェストにおける新市民病院建設について

### (一問一答方式)

【問】新市民病院の諏訪地区への建設を白紙にすることについて生じる責任や問題は。

【答】選挙の結果が、諏訪地区の見直しになったと思う。今後生じる問題については地権者との話し合いのうえ納得してもらう方向で考える。

【問】新市民病院建設に、まちづくり三法の国の補助金50億円を使わない理由は。

【答】諏訪地区は地価が高く、企業の社宅、独身寮が建ち、これを壊すことは大きなむだと考えている。

【問】市街化区域に建設するならば、補助金を50億円もらえる諏訪地区のほうが安いのでは。

【答】まちづくり三法の補助金をもらうより安く、早急に建設が可能である市街化区域で、土地を探して建設したい。

【問】病院建設の候補地は平成20年3月に発表ができるのか。

【答】20年3月までに新市民病院建設地検討委員会を立ち上げ、そこで、何か所か候補地を示したい。

### ⑥まちづくり三法

ゾーニング(土地利用規制)を促進するための改正都市計画法、生活環境への影響など、社会的規制の側面からの大型店出店の新たな調整の仕組みを定めた大規模小売店舗立地法、中心市街地の空洞化を食い止め、活性化活動を支援する中心市街地活性化法の3つの法律の総称。

### ④スケールメリット

同種のものが集まり、規模が大きくなることによって得られる利点。

## 選挙チラシ並びにマニフェストにおける 看護学校について

### (一問一答方式)

- 【問】新市民病院へ看護学校を併設するねらいは。
- 【答】地元への定着率を上げ、看護師不足の解消を図る。
- 【問】多大な費用のかかる併設への方策は。
- 【答】民営や公設民営なども検討し、費用の縮小を図る。
- 【問】民間活力導入の検討により、併設の考えに変化があるか。
- 【答】公約とずれるが、必ず併設という意味ではない。
- 【問】看護学校の広域連携の考えは。
- 【答】一部事務組合の運営もあることから、今後、この地域の広域連携を探る必要がある。
- 【問】大学との具体的な連携への考えは。
- 【答】新城大谷大学は、豊川市への看護学部設置の検討の話もあり、連携により可能性はある。
- 【問】宝陵高校に対する考えは。
- 【答】看護科の充実、本市への就職の方策を検討したい。
- 【問】公約違反の場合の責任は。
- 【答】市民に判断してもらおうことになると考えている。

## 選挙チラシ並びにマニフェストにおける 諏訪地区開発及び産業・観光支援について

### (一問一答方式)

- 【問】諏訪地区の病院建設が白紙になることで、今後の同地区についての考えは。
- 【答】諏訪地区は、行政機関も多く、商業地域でもあり、合併後の新市においても市民交流の中心核と考えている。
- 【問】開発ビル内のアピタやテナントの売上高が減少し、撤退する専門店等もある中で、今後の対応は。
- 【答】テナントの方も含めて、諏訪の開発に向けた、市長を交えた説明の機会を設け、商業の活性化の方法を検討したい。
- 【問】産業支援政策についてはどのような考えか。
- 【答】産業基盤の充実として、交通アクセス整備、大木地区の工業用地開発を含めた企業誘致による活性化が必要であり、産業振興、雇用創出、地域の活性化を図る。
- 【問】観光支援政策についてはどのような考えか。
- 【答】門前の景観整備やいなり寿司のブランド化と、PR活動による相乗効果を図る。

## 市長の公約実現について

### (一問一答方式)

- 【問】新市民病院は、市街化調整区域に本来に建設可能か。
- 【答】調整区域も建設可能と考えるが、1年以内とする時間の制約の中での当該区域での用地決定は非常に厳しいと考える。
- 【問】第一候補地とした名太陽地球環境研究所の状況は。
- 【答】戦争遺跡の指定に係る文化庁の返事の内容により、工業専用地域である同候補地も建設可能と考えている。
- 【問】開院予定が24年度から25年度に変更された理由は。
- 【答】建設期間が長くなる可能性を含めている。
- 【問】子どもの医療費無料化が、入通院ともすぐに中学3年まで拡大すると考える市民に説明は。
- 【答】少しでも前倒しできるよう努力し、任期中の4年で実現をしていく。
- 【問】新市民病院建設地検討委員会の立ち上げが、20年3月までかかるのはなぜか。
- 【答】一番遅くとも3月までにということ、早くできるよう努力する。

## 豊川市職員の資質向上について

### (一問一答方式)

- 【問】第7回豊川市市民意識調査における市政に対する満足度調査結果の受け止め方は。
- 【答】市民は、職員の資質や、人件費削減を重要課題と捉え、満足度には厳しい評価を与えられていると認識している。
- 【問】職員の人材育成として、時代にマッチしたカリキュラムへの取り組みの現状は。
- 【答】地方分権の受け皿となる人材教育、歳出削減を図る行政改革の研修など、専門的な取り組みも実施している。
- 【問】研修レベルの向上及び、1月合併後の2町の職員への教育の取り組みは。
- 【答】自ら進んで受講する公募型の研修を導入している。2町の職員へは、幅広い研修に参加する機会を設ける。
- 【問】組織と個人の目標を達成するための、目標管理制度の施行状況は。
- 【答】上位の職階より順次試行を進め、現在、課長補佐級まで拡大しており、制度の本施行は平成22年度を予定している。

## 地域密着型サービスについて

### (一括質問方式)

**【問】** 現在、32の居宅介護支援事業を始め、利用者の状態によって選択する、いろいろなサービスがあり、便利になっている。そこで、地域密着型サービス事業の現状と今後の展開について伺う。

**【答】** 地域密着型サービスには6種類あるが、第3期介護保険事業計画で、本市は、認知症対応型グループホーム、認知症対応型デイサービス、小規模多機能型居宅介護について、20年度の供給を見込んでいます。残りの3種類は、地域密着型サービス以外で対応する。今後、小規模多機能型居宅介護では、さらに、2か所の整備が必要と考えているが、今年度に事業を開始した2事業者の実績を見ながら、新年度の公募を考えている。その他の地域密着型サービスは、実績と需要、合併で市域拡大となる日常生活圏域、県の介護保険支援事業計画とも調整を図り、21年度からの第4期介護保険事業計画策定の中で、検討すべき課題と考えている。

## 新市民病院敷地内に看護学校を建設する考えについて

### (一問一答方式)

**【問】** 選挙のマニフェストに記載の、新市民病院敷地内に看護学校を併設する構想については。

**【答】** 当選した後に、看護学部を創造大学で開設、また新城市谷大学で開設の動きがある中で、今後、民間活力を利用し、公設民営の方向で検討していきたい。

**【問】** 看護学校開設の場合、必要な人材については。

**【答】** 学生定員40名で専任教員8名以上うち教務主任1名、他に講師の配置が必要となる。

**【問】** 看護師養成の役割を担う宝陵高校衛生看護科との連携は。

**【答】** 豊川市民病院、豊川宝飯医師会等から講師を派遣しており、連携を図っている。

**【問】** 見直される7対1看護体制に対し、市民病院の対応は。

**【答】** 新年度に向け、看護師の増員分は確保できているが、今後も看護体制の維持に努める。

**【問】** 看護師の再就業支援を図るカムバック研修の効果は。

**【答】** 受講者で就職先を探している方もおり、この研修が再就職につながるかと考える。

## 学校施設設備の課題と校区の見直しについて

### (一問一答方式)

**【問】** 児童生徒数の動向と校舎等の耐震化の進捗状況は。

**【答】** 平成14年から19年までの5年間の児童生徒数全体の増減状況は、小学校で196人増、17クラス増といずれも微増となっている。中学校では、158人減、1クラス減の微減となっている。耐震補強工事の進捗状況は、16年度から危険度の高いCランクの校舎と屋内運動場を優先的に進めている。現在は、Bランクの工事を行っている。

**【問】** 今後の35人学級による教室不足への対応は。

**【答】** クラス編成を想定すると、小学校で1から3クラス増が14校、中学校では1から5クラス増が7校となり、会議室等を普通教室に転用の必要がある。

**【問】** 区域外通学制度など、見直した制度の概要は。

**【答】** 19年4月から弾力的な運用を図っている。具体的な許可の理由は、障害のある児童への教育的配慮、保護者の親の介護による場合、希望する体育系の部活動がない場合を理由とする。

## がん検診・AEDの設置及び救命講習の普及促進について

### (一括質問方式)

**【問】** がん検診の受診率と受診率を高める方策及びがん検診の負担金無料化の考えについて伺う。

**【答】** 胃がん28・7割、肺がん35・8割、大腸がん28・9割、子宮頸部がん11・8割、乳がん22・9割で、前立腺がんは、18年度から実施している。また、受診率を高めるには、広報とよかわに保健特集号を載せ、啓発を行っている。負担金は、国の徴収基準額により徴収を行っており、今後も負担をお願いする。

**【問】** AEDの設置及び貸し出し、救命講習の状況と今後の予定について伺う。

**【答】** 現在、市役所、総合体育館、文化会館、中学校を始め53か所に設置している。今後は、公共施設を始め、利用者が10万人以上の施設を優先する。なお、貸し出しについては、今後検討していきたい。救命講習の実施状況は、宝飯郡を含め、19年度は218件、七千五百七十六人が受講している。AEDを含めた救命講習は、積極的に進める。

### ⑦AED

(Automated External Defibrillatorの略) 自動体外式除細動器。心臓がけいれんし、血液を流すポンプ機能を失った状態(心室細動)になった心臓に対して、電気ショックを与え、正常リズムに戻すための医療機器。

### ⑥小規模多機能型居宅介護

介護が必要となった高齢者(主に認知症高齢者)が、これまでの人間関係や生活環境をできるだけ維持できるよう、「通い」を中心に、「訪問」「泊まり」の3つのサービス形態が一体となり、24時間切れ間なくサービスの提供を行うもの。

## 市長のマネジメント

子どもの医療無料の拡大、保育施策の充実並びに  
国際化・文化芸術の推進について

市民参画・子どもの放課後の  
居場所づくりについて

発達障害・本市の行政情報  
漏えいについて

### (一問一答方式)

【問】 マニフェストに記載の陸上競技場の改修にあたり、イベントとの併用はどうするのか。

【答】 イベントについては、開催場所の変更も含めて検討していきたい。

【問】 改修の財源の確保についての考えは。

【答】 約2億8千万円を見込む事業費は、改修の場合、補助対象外と聞けが、補助金の確保に向け努力したい。

【問】 補助金の確保が難しい場合における対応は。

【答】 競技場整備は重要な課題と考える。イベント併用の課題を調整し、一般財源、起債を使っても財源の確保を行いたい。

【問】 コミュニティバス等の公共交通施策の考えは。

【答】 一宮地区、合併する音羽、御津地区を含め、現在の運行バス、タクシーは当面存続するが、利用がないと運営は難しい。

【問】 新市におけるバス路線の今後の基本的な考えは。

【答】 全市域で一元的に管理運営できる方向等を研究したい。

### (一括質問方式)

【問】 ①新年度からの中学校卒業までの通院・入院医療費無料化の考え②保育料の値上げ計画を撤回する考え③市民病院への通訳配置④国際化推進懇談会の報告書における市長の認識⑤無錫市新区との友好都市提携の市長の考え——について伺う。

【答】 ①入院については中学校3年生まで、通院については小学校3年生までを平成20年度に実施。平成23年度までには中学校3年生まで拡大し、無料化を考える②平成20年度に第3子以降の3歳未満児の保育料を無料化する。おやつ代の値下げも検討する。弾力徴収率について平成21年度の引き上げを見送り、平成22年度に2割引き下げの考えである③パート、嘱託を含め、適した人材の確保を考える④外国籍住民の声を、直接、聞く中でまとめられており、本市の置かれている状況、課題を的確に捉えているものと考ええる⑤友好都市提携は、日本と中国の主要行政の組織の違いから、より慎重に検討する必要がある。

### (一問一答方式)

【問】 委員が公募されている会議の数と、公募枠を設けて市民参加の促進を図る考えは。

【答】 2つの会議で公募をしている。今後、公募枠の現状を把握して課題としたい。

【問】 議事録が常に見覧できる会議の数及び、委員会の公募や重複制限、情報公開等についての基本を要綱に定める考えは。

【答】 43会議中3会議であり、要綱については調査・研究する。

【問】 今年度から国で施行の放課後子どもプランの目的は。

【答】 文部科学省の放課後子ども教室推進事業と厚生労働省の放課後児童クラブとの連携した施策として、教育委員会、福祉部局が一体的になり、全小学校区でプラン推進を行なうもの。

【問】 放課後子どもプランの本市での実施の見込みは。

【答】 月1、2回で無料の放課後子ども教室と、有料で平日に毎日実施する放課後児童クラブの相違、指導者や場所の確保の課題等から、今後、放課後子ども教室の校区の拡大を考える。

### (一問一答方式)

【問】 発達障害者支援法の施行に対し、本市の支援の展開は。

【答】 社会福祉法人「若竹荘」に事業を委託し、乳幼児から成人まで地域での一貫した支援体制の整備を進めている。

【問】 本市の発達障害支援者に係る人材育成の考えは。

【答】 民間の支援コーディネーター、乳幼児健診を行なう保健師が、県主催の支援者養成専門研修を受講している、また講演会の開催等で発達支援に関わる職員の理解を深める。

【問】 小中学校の全教員の発達障害の研修の終了はいつ頃か。

【答】 教頭、校長等管理職も含め20年度を目途に進めたい。

【問】 自治体の行政情報漏えいについて本市の対策は。

【答】 情報セキュリティ対策を総合的にまとめたセキュリティポリシーに基づき、職員への周知、研修を実施している。1月の住民情報システムの全面更新でパスワード管理に加え、指紋認証、操作履歴の記録管理も導入し、不正使用の防止を図る。

### ⑨スマートIC

高速道路の本線やサービスエリア、パーキングエリア、バスストップから乗り降りができるように設置するインターチェンジであり、通行可能な車両をETCを搭載した車両に限定している。

### ⑩セキュリティポリシー

組織の中にある情報資産を安全に運用するための規約を文書化したもの。

## 市長の公約、所信表明、

### 新体制の考えについて

#### (一問一答方式)

## 消防員の確保、東名赤塚スマートIC及び

### 市長のマンIFESTOについて

#### (一問一答方式)

## 選挙チラシ並びにマンIFESTOにおける

### 本市の財政面について

#### (一問一答方式)

【問】新市民病院建設について、

①検討委員会が諏訪地区を提案した場合の対応②諏訪の活性化対策③補助金確保の考えは。

【答】①諏訪地区がいいという意見が出れば、尊重はする②地元との相談の中で、方法を検討していく③事業ごとに、いろいろな補助金があるので、使えるものは使う考えである。

【問】副市長選任の考えは。

【答】2人制の検討が必要になると考えるが、当面は、1人であるという考えである。

【問】豊川宝飯衛生組合について、①組合存続の考え②解散の場合の削減内容は。

【答】①事務効率、経費削減を考え、解散も含め、あり方を検討②最大で、6千万円の削減。

【問】スポーツ振興について、①その方向性②振興計画の進捗状況は。

【答】①生涯スポーツ社会の実現と考えている②陸上競技場整備等の課題や合併する2町も踏まえ、市民ニーズ等を把握し、準備作業を進める。

【問】消防団員確保の新たな取り組みは。

【答】消防職、団員のOBによる機能別消防団員制度の、20年度からの導入を検討している。また、女性消防団員の入団を促進している。

【問】東名赤塚スマートICの内容は。

【答】赤塚パーキングにETC専用インターの設置、そのアクセス道路の整備を、豊橋市が中心となり、関係市町、経済界で検討している。

【問】マンIFESTOにおける、

①文化協会支援の拡大②松並木保護に向けたう回路整備は。

【答】①文協事務局の機能充実、また、合併を機に、施設の特徴を考慮した事業を検討する②市道池田並松線と国道1号への信号機設置が今年度完了するので、このほかの既設道路の整備を検討する。なお、松並木保護のための県道の遊歩道化には、バイパス道路が必ず必要となるため、引き続き、県への働きかけを行う。任期内の実行を決意する。

【問】一般会計における、4年後の市債残高の削減目標は。

【答】病院関係を除き、30億円減らし759億円程度に下げたい。

【問】選挙チラシには、市債について「平成12年度は655億円だったものが年々増え続けてきたもので」とあるが、過去8年間に154億円増加したその内訳は、誰が市長でもやむを得ない88億円の臨時財政対策債と、77億円の合併特例債の増加があり、結果この間に11億円の減額をしたことになると思うが。

【答】臨時財政対策債に関して、国でお金がなく地方で借金をしたが、不交付団体となり財政措置のないことが原因と認識する。

【問】選挙チラシより算出された、諏訪地区以外の病院建設費と諏訪地区を比較検証すると、諏訪地区と比べ差がなくなり、「50億円も借金を抑える」ことにはならないと思うが。

【答】建設候補地については、敷地の面積や形状及び価格などについての比較を行ない、十分に検討していく。

## その他の質問項目

- ・豊川市・音羽町・御津町合併について
- ・後期高齢者医療について
- ・市長の市政運営への考え方について
- ・読書教育推進事業について
- ・視覚障害者のための情報バリアフリーについて
- ・介護予防事業について
- ・少子化問題について

## 次回の定例市議会

(平成20年第1回定例会)

### ◆会期日程予定

2月22日(金)	開	会	13時30分
2月27日(水)	代表・	一般質問	10時
2月28日(木)	一	般 質 問	10時
2月29日(金)	一	般 質 問	10時
3月 3日(月)	中	日	13時30分
3月 5日(水)	常 任 委 員 会		10時
3月 7日(金)	常 任 委 員 会		10時
3月11日(火)	予 算 特 別 委 員 会		10時
3月12日(水)	予 算 特 別 委 員 会		10時
3月13日(木)	予 算 特 別 委 員 会		10時
3月14日(金)	予 算 特 別 委 員 会		10時
3月18日(火)	最 終	日	13時30分

日程は変更になることもありますので、詳しくは議会事務局(TEL89-2150)へお問い合わせください。

## 市議会を傍聴しましょう